

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

加美小	学校
-----	----

児童数	91
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.50	17.08	35.67	35.30	36.39	9.81	136.32	16.77	46.45
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.46	16.67	40.15	35.15	28.00	9.77	138.31	12.29	51.74
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男女ともに長座体前屈以外すべての項目で全国平均を下回っている。体力合計点では、男子全国比－6.14点、女子全国比－2.54点となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的に回答した割合を見ると、男子87.6%（全国92.9%）・女子86.3%（全国85.7%）と男子が全国比－5.3%となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合をみると、男子24.2%（全国9.0%）・女子32.6%（全国16.3%）で、日頃から運動に取り組む時間が短いことがわかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

コロナ禍の「制限」が解除され、体育科の学習をはじめ、休み時間の過ごし方や、「なわとび週間」「かけ足週間」といった取り組みも「日常」にもどっている。

体育科の学習では、児童に興味をもたせるように指導法を工夫しながら取り組みをすすめている。また、休み時間には運動場でバスケットボールやおにアソビなどをして過ごす児童も多い。また「なわとび週間」「かけ足週間」では「がんばりカード」を配付し、児童がめあてをもって取り組むことができるように工夫してきた。

しかし、調査の結果から、まず「運動が好き」という児童を増やす必要があることがわかった。体育の学習を中心に、さらに指導法に工夫を重ね児童の興味・関心を高めていく必要がある。